

入 札 説 明 書

(看護補助者派遣業務)

令和 5 年 9 月 1 4 日

石川県立中央病院

入 札 説 明 書

次のとおり一般競争入札を実施する。

1 入札執行者

石川県立中央病院長 岡田 俊英

2 一般競争入札に付する事項

(1) 当該調達業務の名称

石川県立中央病院 看護補助者派遣業務

(2) 当該調達業務の内容等

入札説明書及び仕様書（以下「入札説明書等」という。）による。

(3) 契約期間

契約締結の日から令和6年3月31日まで

(4) 派遣期間

契約に定める日から令和6年3月31日まで

3 入札に参加する者に必要な資格に関する事項

この入札に参加することができる者は、平成10年度以降石川県が発注する物品の製造の請負、物品の購入等の契約に係る一般競争入札及び指名競争入札に参加する者に必要な資格並びに資格審査の申請の時期及び方法等（平成9年石川県告示第581号）に基づき、令和5年度において競争入札参加資格を有する者で、次に掲げる条件の全てに該当し、かつ、この契約に係る入札参加資格の確認を受けたものであること。

(1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 県の指名停止措置を受けていない者であること。

(3) 次のアからオまでのいずれにも該当しない者であること。

ア 役員等（個人である場合にはその者を、法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。）が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）である者

イ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与している者

ウ 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員の利用等をしている者

エ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的又は積極的に暴力団の維持運営に協力し、又は関与している者

オ 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者

(4) 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和60年法律第88号）第5条第1項に規定する一般労働者派遣事業の許可を受けている者又

は同法第 16 条第 1 項に規定する特定労働者派遣事業の届出書を提出し受理されている者であること。

- (5) 石川県内に本店、支店または営業所等の事業所を有している者であること
- (6) 過去 2 年の間に、夜間に看護補助者を派遣する業務に関して、当院と同規模（500 床以上）の医療機関において 15 名以上の契約を締結し、かつこれらを誠実に履行した実績を有する者であること。
- (7) 個人情報の安全管理のためプライバシーマークを取得するなど、明確な措置を講じていることを証明した者であること。
- (8) この入札に併せて行われる資格審査により、この入札に係る派遣業務を遂行する事務的能力を有すると認められる者であること。

4 入札及び開札

- (1) 入札者又はその代理人は、入札公告、仕様書及び別添契約書（案）（以下「仕様書等」という。）を熟読し、入札心得を遵守のうえ入札しなければならない。この場合において、当該仕様書等について疑義がある場合は、別記 6 に対して説明を求めることができる。ただし、入札後、仕様書等についての不知又は不明を理由として異議を申し立てることはできない。
- (2) 入札書に記載する金額は、労働者派遣に係る 1 人当たりの時間単価とする。
- (3) 入札書及び入札に係る文書に使用する言語は、日本語に限るものとし、また入札金額は、日本国通貨による表示に限るものとする。
- (4) 入札書の提出場所は、別記 4 及び 5 のとおり。
- (5) 入札書の受領期間（受領期限）は、別記 4 及び 5 のとおり。
- (6) 入札書は、直接に提出する場合は封書に入れ密封し、かつ、その封皮に氏名（法人の場合は、その名称又は商号）及び「何月何日開札〔当該業務の名称〕の入札書在中」と朱書きし、郵便により提出する場合は二重封筒とし、入札書の中封筒に入れて密封の上当該中封筒の封皮には直接に提出する場合と同様に氏名等を朱書きし、外封筒の封皮には「何月何日開札〔当該業務の名称〕の入札書在中」と朱書きしなければならない。
- (7) 入札者又はその代理人は、入札書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印をしておかなければならない。
- (8) 入札者又はその代理人は、その提出した入札書の書換え、引換え、又は撤回をすることができない。
- (9) 入札者又はその代理人が相連合し、又は不穩の挙動をする等の場合で競争入札を公正に執行することができない状態にあると認めたときは、当該入札を延期し、又はこれを廃止することがある。
- (10) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 100 分の 10 に相当する額を加算した金額（1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 110 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。

- (11) 入札公告により競争入札参加者資格審査申請書を提出した者が、開札時に前記2の資格を有すると認められること及び前記3の義務を証明することを条件に、あらかじめ入札書を提出した場合において、当該者に係る資格審査が開札日時までに終了しないとき又は資格を有すると認められなかったとき又は義務を証明しなかったときは、当該入札書は落札決定の対象としない。
- (12) 開札の日時及び開札の場所は、別記5のとおり。
- (13) 開札は、入札者又はその代理人が出席して行うものとする。この場合において入札者又はその代理人が立ち会わないときは、入札執行事務に関係のない職員を立ち会わせてこれを行う。
- (14) 入札場には、入札者又はその代理人並びに入札執行事務に関係のある職員（以下「入札関係職員」という。）及び(14)の立会い職員以外の者は入場することができない。
- (15) 入札者又はその代理人は、開札時刻後においては、入札場に入場することができない。
- (16) 入札者又はその代理人は、開札に立ち会うときは入札関係職員の求めに応じ、入札参加者資格認定通知書及び身分証明書を提示し又はその写しを提出し、入札権限に関する委任状を提出しなければならない。
- (17) 入札者又はその代理人は、特にやむを得ない事情があると認められる場合のほか、入札場を退場することはできない。
- (18) 入札場において、次の各号の一に該当する者は当該入札場から退去させる。
 - ア 公正な競争の執行を妨げ、又は妨げようとした者
 - イ 公正な価格を害し、又は不正の利益を得るための連合をした者
- (19) 入札者又はその代理人は、本件調達に係る入札について他の競争加入者の代理人となることができない。
- (20) 開札をした場合において、入札者又はその代理人の入札のうち、予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度の入札をする。この場合において、入札者又はその代理人のすべてが立ち会っている場合（郵便による入札をした者が再度入札を辞退した場合を含む。）にあつては直ちに、その他の場合にあつては別に定める日時において入札をする。

5 入札保証金

免除する。

6 無効の入札書

入札書で次の各号の一に該当するものは、これを無効とする。

- (1) 入札公告に示した競争入札参加者資格のない者の提出した入札書
- (2) 入札公告に示した入札者に要求される義務を証明しない者の提出した入札書
- (3) 当該業務の名称及び入札金額のない入札書
- (4) 入札者本人の氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）及び押印のない又は判然としない入札書
- (5) 代理人が入札する場合は、入札者本人の氏名（法人の場合は、その名称又は商号及び代表者の氏名）、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名及び押印のない又は判然

としない入札書

なお、正当な代理人であることが代理委任状その他で確認された場合を除く。

- (6) 当該業務の名称の表示に重大な誤りのある入札書
- (7) 入札の記載が不明確な入札書
- (8) 入札金額を訂正したもので、その訂正箇所に押印のない入札書
- (9) 入札公告において示した入札書の受領期限までに到達しなかった入札書
- (10) 「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律」（昭和 22 年法律第 54 号）に違反し、価格又はその他の点に関し、明らかに公正な競争を不法に阻害したと認められる者の提出した入札書
- (11) 当該入札に対する同一人の 2 以上の入札書
- (12) 再度入札に当たり、直前の入札の最低価格以上の入札書
- (13) その他入札に関する条件に違反した入札書

7 落札者の決定

- (1) 有効な入札書を提出した者であって、最も低い価格を提示した者を落札者とする。
- (2) 落札となるべき同価の入札をした者が 2 人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。
- (3) (2) の同価の入札をした者のうち、出席しない者又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係のない職員に、これに代わってくじを引かせ落札者を決定するものとする。
- (4) 落札者を決定した場合、落札者とされなかった入札者から請求があったときは、速やかに、落札者を決定したこと、落札者の氏名及び住所並びに落札金額を、落札者とされなかった入札者に書面により通知するものとする。
- (5) 落札者が、指定の期日までに契約書の取り交わしをしないときは、落札の決定を取り消すものとする。

8 契約保証金

免除する。

9 契約書の作成及び契約条項

- (1) 契約締結に当たっては、契約書を作成するものとする。
- (2) 契約条項は、別紙契約書のとおりとする。
- (3) 契約に当たっては、入札書に記載された金額をもって契約金額とするので、契約金額に実働時間を乗じて得た額に消費税及び地方消費税相当額の額を加算した額を請求するものとする。

10 その他必要な事項

- (1) 契約締結権者の氏名は、別記 6 のとおり。

- (2) 入札者若しくはその代理人又は契約の相手方が本件調達に関して要した費用については、すべて当該競争加入者若しくはその代理人又は当該契約の相手方が負担するものとする。
- (3) 入札書が無効となった者は当該入札に再度参加することはできない。
- (4) 入札書の宛名は石川県立中央病院長とすること。
- (5) 本件調達に関しての照会先は、別記7のとおり。

別 記

1 競争入札に付する事項

- (1) 業務の名称
石川県立中央病院 看護補助者派遣業務
- (2) 業務の特質等
別紙仕様書のとおり
- (3) 契約期間
契約締結の日から～令和6年3月31日

2 入札者に必要な等級

石川県における競争入札参加者資格（物品の部）を有する者であること。

3 入札説明書の受領期間（受領期限）及び申請書等の提出場所

入札公告の日から令和5年9月21日（木）午後5時15分まで
金沢市鞍月東2丁目1番地
石川県立中央病院管理局総務課職員係

4 書留郵便による入札書の提出期限及び宛先

令和5年10月5日（木）午前10時 必着
金沢市鞍月東2丁目1番地 石川県立中央病院管理局総務課職員係 宛

5 開札の日時及び場所

令和5年10月5日（木）午前10時
金沢市鞍月東2丁目1番地 石川県立中央病院 会議室2

6 契約締結権者

石川県立中央病院長 岡田 俊英

7 本件調達に関しての照会先

石川県立中央病院管理局総務課職員係
電話番号 （直通）（076）231-7855